

銅賞 小瀧奈々君

北海学園大学工学部建築学科

Boundary line of fetal movement ---胎動の境界線---

この建築のテーマは現代の醜悪な橋を建築の力でどうかしようという意欲的な作品である。もっと川と人々が触れ合ってほしいと、季節によって、又は毎日変化することに着目したことや、一部水没する様はなかなか秀作である。金賞に次いで2番目の票であったが、検討の末銅賞に留まったが、金賞の場所性のないライトなフェースよりヘビーで僕としては好感が持てた。形態的にはかなりグロテクスでシャープなのが印象に残ったが、バードアイでないこの全貌が分からないのがとても残念である。あらゆる角度から検討されつくした力作である事は間違いない。

(文責：中山 眞琴君)

